

東京港第9次改訂港湾計画に向けた調査検討委員会（第5回）

議事概要

1 日 時

令和5年4月26日（水）10時00分から11時30分

2 場 所

新宿 NS ビル 30F ルーム 1・2（オンライン併用）

3 出席者

別紙のとおり

4 議 事

- (1) 今後の検討スケジュール
- (2) 東京港第9次改訂港湾計画 中間報告（案）

5 議事概要

- 事務局から今後の検討スケジュール、東京港第9次改訂港湾計画 中間報告（案）の内容について説明を行った。
- 委員会に出席した委員から、以下の意見が示された。
 - ・ 長期構想の内容やこれまでの調査検討委員会の議論を踏まえて、具体的な整備箇所、整備内容等を分かりやすくまとめた港湾計画になっている。
 - ・ 限られたヤードスペースを柔軟に活用していくためには、ターミナルの一体利用が重要である。
 - ・ 東京港には、物資補給岸壁など様々な岸壁があるので、これらを有効に活用していけるといい。

- 物流の効率化に向けて、国や自治体等が取り組んでいる物流プラットフォームの共有化を早急に行うべきである。
- AI等の最先端技術の積極的な活用などに加えて、貨物情報の可視化についても取り組んでいけるといい。
- 船社などではDXの活用により、貨物の動静等をリアルタイムで把握しているが、今後は行政側の各種手続きとのリンク性が大事になってくる。物流の効率化に向けて連携した取組が進められるといい。
- 港で働く人々にとって快適で働きやすい環境を確保するため、DXを積極的に活用していくべきである。
- 東京港の魅力を発信するため、観光分野においても、デジタル化を活用していくべきである。
- ドイツなどのヨーロッパでは、人々が港を身近に感じられるよう、遊覧船などでコンテナターミナルを巡るツアーがある。こうした事例も参考に、東京港において、港のPRを積極的に進めていけるといい。
- 水と緑のネットワークなどにおいて、これらを活用した環境学習にも取り組んでいくべきである。

以上

東京港第9次改訂港湾計画に向けた調査検討委員会(第5回)

出席者名簿

令和5年4月26日(水)

(敬称略・順不同)

職	区分	氏名	所属・役職	出欠 (代理出席者)
委員長	学識経験者	大脇 崇	公益社団法人日本港湾協会 理事長	出席
副委員長		根本 敏則	敬愛大学経済学部 教授	オンライン
委員	学識経験者	水庭 千鶴子	東京農業大学 地域環境科学部造園科学科 教授	出席
		二村 真理子	東京女子大学現代教養学部 教授	オンライン
		柴崎 隆一	東京大学大学院工学系研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授	出席
		鶴岡 純一	一般社団法人東京港運協会 会長	出席
	港湾利用者	山崎 元裕	東京倉庫協会 会長	欠席
		宇佐美 和里	一般社団法人日本船主協会 常務理事・企画部長	オンライン
		多田 正博	日本機械輸出組合 部会・貿易業務グループリーダー	出席
		栗林 宏吉	日本内航海運組合総連合会 会長	出席
		黒田 富治	東京湾水先区水先人会 副会長	出席
		福岡 淳一	一般社団法人東京都トラック協会 海上コンテナ専門部会 部会長	出席
		中井 拓志	オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社 代表取締役社長	出席
		松川 一裕	株式会社ダイトーコーポレーション 代表取締役社長	欠席
	関係官庁	目黒 哲巳	財務省東京税関監視部長	オンライン
		森橋 真	国土交通省関東地方整備局 港湾空港部長	出席
		加藤 絵万	国土交通省関東地方整備局 東京港湾事務所長	オンライン
高橋 信博		国土交通省関東運輸局 交通政策部長	オンライン	
木下 敏和		海上保安庁第三管区海上保安本部 東京海上保安部長	オンライン (中橋 一郎)	
坂倉 英一		警視庁交通部交通規制課長	出席 (藤平 忠晴)	
オブザーバー	山本 貴弘	国土交通省港湾局計画課 港湾計画審査官	出席	